

# 善通寺市立こども園の 整備に関する基本方針

令和7年12月  
善通寺市

## 目 次

はじめに	1
1 現状	2
2 こども園整備の基本的な考え方	5
3 1園目のことども園の位置と規模	6
4 2園目のことども園について	7
5 スケジュール	8

## はじめに

---

善通寺市の学校等の再編整備については、令和6年3月25日、「善通寺市学校等の在り方検討委員会」の提言書が提出され、同年11月に「善通寺市学校等再編整備検討委員会」を設立し、学校等の再編整備の具体的な方策について議論を進めてきました。

本議論については、本市における出生者数の減少などを踏まえ、就学前施設（保育所、幼稚園）の再編整備が優先的に検討すべき喫緊の課題とされたため、まずは保育所及び幼稚園の再編整備について検討を進め、「公立こども園については最終的に2園設置する。」という結論がだされ、令和7年8月28日、市長に中間報告が提出されました。

1園目はすでに用地を取得している竜川小学校東側に170人～180人程度を受け入れられる規模の施設を整備し、2園目は今後の小・中学校の再編整備の議論においてその設置場所及び規模を考えることとします。1園目の整備後は、新しい公立こども園と既存の保育所及び幼稚園のうち使用できる施設を使用しながら、また私立施設の協力を得ながら、2園目の規模及び場所を検討して最終的に公立こども園を2園整備します。

この基本方針は、こども園整備について、現段階で、すべてが決まっているわけではありませんが、今後の議論と並行して1園目のこども園の整備を進めていくため、その基本的な考え方を示すものです。

# 1 現状

## (1) 園児数の予測

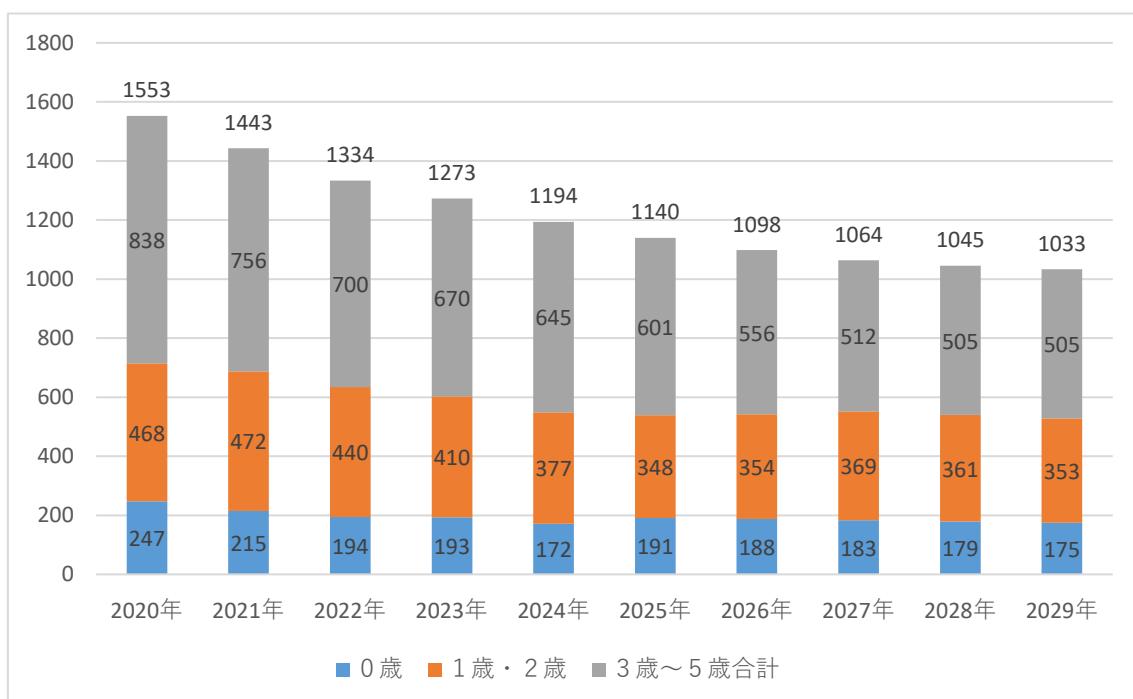
第3期善通寺市子ども・子育て支援事業計画より未就学児数の推移と推計（表1）によると2020年の1,553人から2024年の1,194人へ急激に減少し、2025年から2029年の推計では、1,098人から1,033人に減少する見込みとなっています。

このような減少見込みを踏まえ、また国立社会保障・人口問題研究所の人口推計を参考に算出した2025年の善通寺市の園児数予測（表2）では933人としています。さらに、2030年、2040年、2050年の園児数の推計（表3）では、840人、789人、679人と急激に減少することが予想されます。

このような減少が見込まれる中、園児数が少ない幼稚園があること、また休園する園もでてきていることから適正な集団の中での教育保育が難しくなっています。

表1 未就学児数の推移と推計

（単位：人）



※第3期善通寺市子ども・子育て支援事業計画より抜粋

表2 2025年の園児数予測

(単位：人)

年度	事業所名	園児数（市外児含）※予測値				
		0～2歳	3歳	4歳	5歳	合計
2025年	公立施設	109	88	109	142	448
	私立施設	204	109	96	76	485
	合 計	313	197	205	218	933

※令和7年1月20日開催 第3回学校等再編整備検討委員会資料より抜粋して加工

表3 2025年から2050年までの園児数予測

(単位：人)

年度	園児数予測		
	公立	私立	合計
2025年	448	485	933
2030年	355	485	840
2040年	304	485	789
2050年	194	485	679

※令和7年7月14日開催 第9回学校等再編整備検討委員会資料より抜粋

※善通寺市内には、私立の就学前施設があることから、私立施設の協力を得ながら教育保育の提供体制を確保し、公立施設の園児数を予測しています。

表4 市立幼稚園・市立保育所の園児数（令和7年5月1日現在） (単位：人)

中央幼稚園	28	与北幼稚園	休園
東部幼稚園	56	筆岡幼稚園	52
西部幼稚園	15	吉原幼稚園	24
南部幼稚園	30	善通寺保育所	56
竜川幼稚園	119	竜川保育所	65

## (2) 施設の現状

現在、善通寺市の就学前施設としては市立幼稚園が8園、市立保育所が2園あり、その他に私立の就学前施設が5施設（幼保連携型認定こども園2、保育所2、幼稚園1）あります。市立幼稚園及び市立保育所の施設の状況は、表5のとおり全20棟中、築40年以上経過している建物が18棟あり、老朽化の課題を抱えています。

表5 市立幼稚園及び市立保育所の施設の状況

施設名	建物名	用途	構造	階数	延床面積	建築年
中央幼稚園	管理教室棟	園舎	RC	2	802 m <sup>2</sup>	1977
	遊戯室	園舎	RC	1	235 m <sup>2</sup>	1977
東部幼稚園	管理教室棟	園舎	RC	2	1,144 m <sup>2</sup>	1981
	倉庫	園舎	S	1	32 m <sup>2</sup>	1981
西部幼稚園	管理教室棟	園舎	RC	2	670 m <sup>2</sup>	1982
	倉庫	園舎	RC	1	29 m <sup>2</sup>	1982
南部幼稚園	管理教室棟	園舎	RC	2	737 m <sup>2</sup>	1979
	一	園舎	RC	1	5 m <sup>2</sup>	1979
竜川幼稚園	管理教室棟	園舎	RC	2	788 m <sup>2</sup>	1983
	倉庫	園舎	RC	1	23 m <sup>2</sup>	1983
	便所	園舎	W	1	18 m <sup>2</sup>	2005
	教室棟	園舎	S	1	68 m <sup>2</sup>	2010
与北幼稚園	管理教室棟	園舎	RC	2	638 m <sup>2</sup>	1979
筆岡幼稚園	管理教室棟	園舎	RC	2	656 m <sup>2</sup>	1978
吉原幼稚園	園舎	園舎	RC	2	790 m <sup>2</sup>	1983
善通寺保育所	保育室・育児室	園舎	RC	1	530 m <sup>2</sup>	1982
	倉庫・物置	園舎	S	1	6 m <sup>2</sup>	1984
竜川保育所	保育室・育児室	園舎	RC	1	483 m <sup>2</sup>	1983
	倉庫・物置	園舎	CB	1	2 m <sup>2</sup>	1983
	倉庫・物置	園舎	CB	1	8 m <sup>2</sup>	1983

## 2 こども園整備の基本的な考え方

こども園は、単なる保育施設ではなく、子どもたちが安心して過ごし、遊びを通じて学び、成長できる場と考えます。このことから、こども園整備の基本的な考え方を次のとおり設定します。

### (1) こども園の目標

**笑顔いっぱい　わくわくいっぱい　夢中になれる　こども園**

**～人とのつながりを大切に～**

### (2) こども園の施設コンセプト

#### ①「生活の場」として、安全で安心感のある施設

- ・子どもたちの健康を大切にし、安定的に過ごせるよう、通風、採光等を考慮したぬくもりのある施設とする。
- ・子どもたち、職員のスムーズな動線が確保された施設とする。
- ・見通しをよくし、できる限り死角のない施設配置とする。
- ・火災及び自然災害（地震・豪雨）時の安全性を確保した施設とする。
- ・日常の送迎や来園における安全性と利便性に配慮した施設とする。

#### ②「学びの場」として、好奇心や探求心を育む施設

- ・子どもたちが自ら考え、行動し、心も体も思い切り遊び込める施設とする。
- ・多様な教材を活用できる環境を備え、子どもたちの関心を広げられる施設とする。
- ・園庭の自然を通して、四季を感じ豊かな心を育むことができる施設とする。

#### ③「子育て支援の場」として、人や家庭とつながる施設

- ・子どもたち、保護者同士、職員など多くの人がつながることができる施設とする。
- ・人の関わりを通して自分や人を大切に思う心を育むことができる施設とする。

#### ④「長く愛される場」として、長期に渡り使え、維持管理しやすい施設

- ・職員の働きやすさにも配慮し、持続可能な保育・教育を支える施設とする。
- ・日常のメンテナンスを考慮し、維持管理しやすい施設とする。
- ・できる限りイニシャルコスト及びランニングコストの縮減に配慮した施設とする。

### 3 1園目こども園の位置と規模

#### (1) こども園の位置

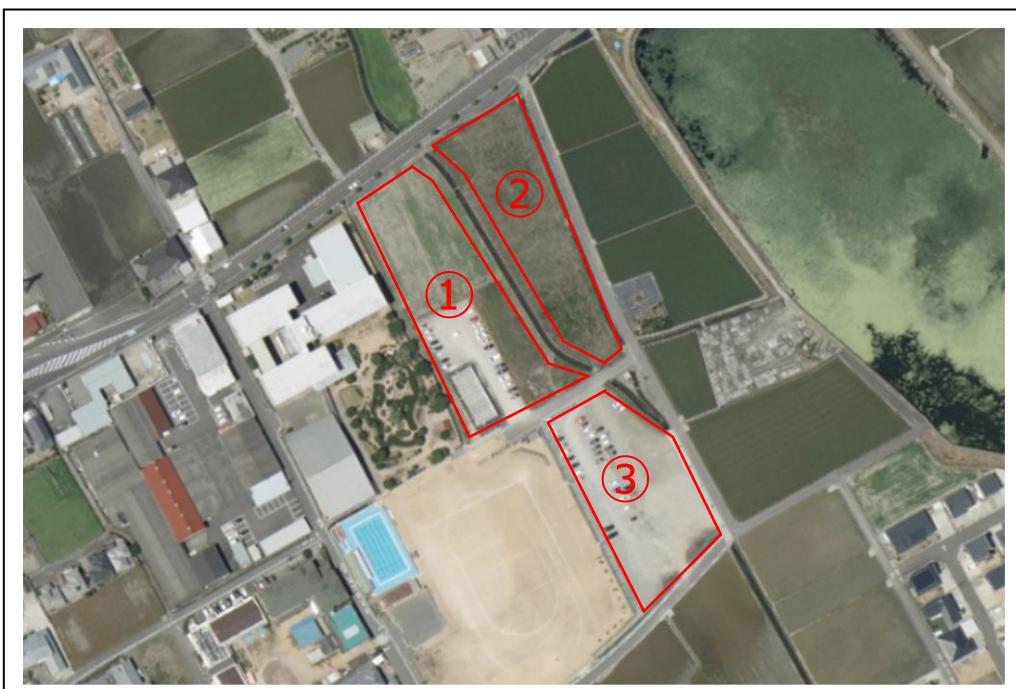
こども園を2園整備するに当たり、1園目は善通寺市立竜川小学校東側の市有地に整備します。この土地に園舎、園庭及び駐車場等を整備します。

工事場所 善通寺市原田町（善通寺市立竜川小学校東側）



#### 土地の面積

- ① 約 4,500 m<sup>2</sup> ② 約 3,000 m<sup>2</sup> ③ 約 3,000 m<sup>2</sup>



## (2) こども園の規模

1園目の規模は、開園予定である2030年（令和12年）の竜川幼稚園と竜川保育所に通う園児数を予測し、170人～180人程度の子どもを受け入れられる規模とします。

また、延床面積は、3,000m<sup>2</sup>程度を想定しています。

表6 竜川幼稚園と竜川保育所の園児数（単位：人）

		園児数 2025年5月1日現在	
	竜川幼稚園	竜川保育所	合計
0歳		9	9
1歳		22	22
2歳		33	33
3歳	30	1	31
4歳	39	0	39
5歳	50	0	50
合計	119	65	184

## 4 2園目のことども園について

---

学校等再編整備検討委員会の「公立こども園については最終的に2園設置する。」ということ及び「公立こども園は、私立施設との共存を考慮した規模とし、2園目の場所については、小中学校の再編の議論と併せて検討していく」という中間報告から、2園目については、2園目が開園できる時点の園児数を考慮して、適切な規模のことども園を整備するものとします。

## 5 スケジュール

これまで述べてきたように、こども園は2園整備する必要がありますが、2園目については今後の中学校の再編の議論と併せて検討するため、まず1園目のスケジュールをお示しします。

令和8年度に基本計画策定に着手し、その後基本設計・実施設計を行い、令和10年度から建設工事にとりかかるという流れになります。

工期等の具体的なスケジュールは設計時に検討しますが、現段階では1園目のこども園完成までに4年程度を見込んでいます。

令和8年度～令和9年度	基本計画・基本設計・実施設計
令和10年度～令和11年度	建設工事、移転
令和12年4月	開園予定